



## contents

## [コラム]

プログラミングの本質は、  
閑暇における自由人の高尚な享楽  
…竹内郁雄

## [解説]

東京都立多摩科学技術高等学校と情報教育  
— SSH 指定校 (科学技術科) の取り組み例 —  
…長谷川正

## [解説]

学校広報と教育  
— 学校と関係者との信頼関係構築 —  
…豊福晋平

基  
般 Columnプログラミングの本質は、  
閑暇における自由人の高尚な享楽

昨年 (2012 年), 夏のプログラミングシンポジウムでなにか喋れと言われて, 筆者は「プログラミング美学 (仮)」  
といういい加減な話をした. このときの話を文章にしたものはちょっと長いので, 「なんだ, それ?」と思った方は  
Web ページ<sup>☆1</sup> にアクセスしていただきたい.

「Beautiful Code」とか「Beautiful Architecture」という本が話題になったせいか, 以前よりも「プログラムが美しい」  
といった言い方がされるようになった. 「真善美」は人間の三大価値観と言われる. たしかに「美」についてはプラ  
トンの時代から哲学の題材として議論されてきた. 「美」は人間の感性の根幹にかかわる.

上記の講演のために, 美学のいろいろな入門書を読んだのだが, アリストテレスが, プラトンの国家論的な音楽観と,  
悦楽的な音楽観の中庸を取り, 「音楽の本質は, 閑暇における自由人の高尚な享楽<sup>かっぱ</sup>」だと喝破したというのが気に入った.

さらに彼は技術的音楽教育を適度に肯定する. それに加わることなくして, その道の優秀な判断者になることは難  
しいというわけだ. ここで「音楽」を「プログラミング」に置き換えれば, これはまさに現代のプログラミングとプ  
ログラミング教育にかかわる論のように見える.

すでに多くの方が論じておられるように, 子供にプログラミングを教えるときは, 「楽しさ」を旨とするのがいいが,  
さらに「美しさ」に関する感性を刺激するのがいいと思う. 楽器を習うがごとき技術的プログラミング教育も必要な  
のだ. こうすればあとあと, 丸投げ発注するとか, ソフトウェアを正當に評価できないという「馬鹿な」ユーザになっ  
てしまうことが防げる.

美学の歴史を振り返ると, 近代に入って, もはや美に絶対的基準はない. むしろ「美しさ」には本人または他者の  
説明責任が生まれてきたという. 子供たちに (いや, 子供たちのみならず大人にも) プログラムあるいはプログラミ  
ングの美しさについて自由に議論させることは, プログラミング教育の新しい手法になり得るのではないか. プログ  
ラムあるいはプログラミングの「美しさ」に理屈をつけるのは, 非身体的な感性, つまり, 知的活動を必要とする感  
性を刺激することであり, 間接的かもしれないが, プログラミング技術の発展に寄与するだろう.

☆1 <http://www.nue.org/nue/nue-essays/nue-essays/2012-summer-prosym-houkoku.pdf>

竹内郁雄 (早稲田大学)